

東京都作業療法士会ニュース

編集：東京都作業療法士会広報部 発行：会長 田中勇次郎

リフレッシュ(現実逃避)のすすめ

日本赤十字社
総合福祉センター
レクロス広尾
石川 未来

この度、区西部西南部ブロックのブロック長を拝命致しました、日本赤十字社総合福祉センターレクロス広尾の石川と申します。

若手OTの皆様はいかがお過ごしでしょうか。GW明けには、退職代行のニュースを見聞きし、当施設の新人職員は大丈夫だろうか…と案じたものです。そこで今回は、新社会人の皆様や若手OTの皆様の働くモチベーションアップに繋がりそうなおすすめ映画とOTにとって学びになると思われる映画を紹介してみたいと思います。

まずは新社会人の皆様へは、ど定番の「プラダを着た悪魔」と「マイインターン」をお勧めします。プラダ〜は特殊で強烈な設定ですが、過酷な環境で踏ん張る主人公を観ると勇気が湧いてくるのではないのでしょうか。いわゆるブラックな環境なのですが、あのような環境はまだよくあるようです。ブラックな環境は良くありませんが、気合が入ります。また、OTとはかけ離れた華やかできらびやかな世界観は、目の保養にもなります。

マイインターンは異世代間交流の大切さやありがたみが分かるかもしれません。ネタバレですが、30代のバリキャリ女性社長とリタイア後にシニアインターンとして社会人に復帰した70代部下は、最後には「最高の友人」になります。これまで、同世代での交流が主であった新社会人・若手OTの方にとっては職員同士に限らず、対象者となる方々には人生の大先輩も多くいると思いますので、人間関係構築

の参考になると思います。皆さんの職場にもきっとロバートデニーロがいるでしょう。探してみてください。

OTの学びになる作品としては「ファーザー」をお勧めします。主人公は認知症の独居男性ですが、認知症本人の目線で物語が進行する為、認知症を患った人に世界はどのように見えているのか、認知症のひとが生きている世界を迫体験することとなります。一度目の鑑賞では私は混乱しましたが、この混乱こそが認知症の方々の日常なのだと思います。

認知症の方々が普段置かれている状況や環境、恐怖心や不安感などの感情がとても深く理解できます。併せてご家族が葛藤する心情も分かり、ご本人・ご家族にこれまで以上に寄り添えるようになるのではないのでしょうか。

昨今、様々な動画配信サービスでいつでも気軽に楽しめますので、とにかく何もしたくない休日や疲れ切った休日にゴロゴロしながら観てみてください。勉強になるので、罪悪感はありません。

どれも名作なので、すでに知っている方もいると思いますが、皆様ぜひ今一度見直してみたいはいかがでしょうか。そして、また明日から一緒に仕事にまい進しましょう。(プラダ〜でも「家賃のために！乾杯」としていますが、いつか皆さんとも乾杯したいものです。)

CONTENTS

- ◆リフレッシュ(現実逃避)のすすめ…①
- ◆第20回東京都作業療法学会
アーカイブ配信のお知らせ…②
- ◆令和6年度 第16回 定時社員総会報告…③
- ◆東京都作業療法士会福祉用具部主催
《福祉用具部研修会のご案内》…④
- ◆事業部活動報告…④
- ◆子ども委員会活動報告…⑤
- ◆地域づくり人材育成研修
ー実践編ーを開催しました！…⑤
- ◆東京都作業療法学会に参加して…⑥
- ◆認知症にやさしい本の紹介 VOL.45…⑥
- ◆保険部 Letter 令和6年度診療報酬改定の概要…⑦
- ◆改造車の運転という作業体験を通して知見を深める…⑧
- ◆障害者の雇用率について…⑧
- ◆令和6年能登半島地震における
リハ支援活動の概要と振り返り…⑨
- ◆ブロック活動のお知らせ…⑩
- ◆編集後記…⑫

第20回東京都作業療法学会 アーカイブ配信のお知らせ

イムス板橋リハビリテーション病院 松澤 良平

小暑の折、会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。この時期の作業といえば、夏フェスですね。21年前、関東に就職した理由は、夏の苗場に行くためでした。今年は、8月に蘇我に参ります。現地でお会いしたら、気軽にお声掛けください。

さて、東京都作業療法士会が主催する年に一度のフェスティバルとして、去る7月14日に第20回東京都作業療法学会を帝京平成大学池袋キャンパスにて現地開催しました。学会の総括は、次号のニュースで報告させていただきますが、まずは、関係各所、他団体に多大なるご協力をいただき開催できましたことを心より御礼申し上げます。また当日は、不慣れな運営で至らない点が多々あり、ご迷惑をおかけしたと思いますが、たくさんの方にお越しいただき感謝いたします。

今回は、区西北部ブロックの委員が中心となって開催しました。始動したのは9月下旬で、第19回東京都作業療法学会の引き継ぎでした。そこから月に一度、対面とオンラインのハイブリッド会議を全体で行いました。数年間ブロック運営に携わっていますが、今回の準備で初めて対面でお会いする方が多く、とても新鮮なスタートでした。今年の3月からは完全にオンラインで準備をしてきました。コロナ禍でオンライン会議やインターネットを介した共同作業ツールが普及し、準備が進めやすくなったこの頃ですが、そういったツールがなかった諸先輩方のご苦勞は驚嘆に値します。

学会自体はまだ継続しておりまして、アーカイブ配信を実施しております。8月中に終了する予定となっております。

学会テーマは「Occupation based」です。作業療法の本質ではありますが、曖昧模糊としたいいくつかの臨床現場があります。作業を取り扱う療法士として、本学会がきっかけに日々の臨床に生かされることを願っております。

本学会に現地参加された方は、時間の都合でご覧になることができなかった演題や講演の振り返りにお役立てください。きっと新たな発見があると思います。参加できなかった方は、少しでも日頃の実践に活かすことができるように、お時間の許す限り、ご参加いただけると幸いです。動画閲覧のシステムの都合もと思いますが、コメント欄で交流し、思考を深化し、想いの熱量を上げ、本学会を皮切りに参加した方々が新たな取り組みを発信できると良いと思っています。

アーカイブ配信は、どこからでも参加可能ですので、東京都作業療法士会に所属していない方、および道府県のお知り合いの方に、ぜひご紹介ください。



アーカイブ配信はこちらから

令和6年度 第16回 定時社員総会報告

事務局長 中里 武史

令和6年6月23日（日）TIME SHARING新宿の会場にて、令和6年度 東京都作業療法士会 定時社員総会を開催いたしました。

昨年度より対面での定時社員総会開催を実施させていただいております。

総会においては17名の代議員の出席、または委任状および書面表決書の提出を合わせて32名が有効数となり、すべての議案が成立しました。ホームページの「お知らせ(会員の方へ)」にも議案書を掲載しておりますので、ご参照いただけますと幸いです。今回の総会では令和5年度の事業報告と決算報告、令和6年度の事業計画および予算案について、また「役員選挙」について決議を行い、今年度のすべての議案が承認されました。

東京都作業療法士会の新入会については、昨今の物価高騰や作業療法士に関連する処遇の影響もみられ組織率の向上が継続的な課題となっております。一方では、東京都や市区町村からの年々新たな相談や依頼が届いている状況ですので、今後も一層作業療法の発展に向けた活動や事業に取り組んで参る所存です。引き続き東京都作業療法士会の事業にご理解、ご支援くださいますようどうぞ宜しくお願い致します。



●東京都作業療法士会 令和6年度役員 ()は所属先名称

会長 田中勇次郎（フリーランス）

副会長 小林法一（東京都立大学）、林義巳（多摩リハビリテーション学院専門学校）、
三沢幸史（フリーランス）

理事 栗沢広之（大久野病院）、伊藤祐子（東京都立大学）、
猪股英輔（東京保健医療専門職大学）、宇佐美好洋（帝京平成大学）、
大村隼人（都立荏原病院）、紙田緑（府中刑務所）、楠本直紀（台東区立台東病院）、
齊藤洸太（中野区役所）、谷村厚子（東京都立大学）、松岡耕史（多摩丘陵病院）、
山下高介（日本リハビリテーション専門学校）

〈新任〉菊池大典（専門学校首都医校）、〈新任〉原田祐輔（杏林大学）

〈新任〉水口寛子（国立国際医療研究センター病院）

監事 酒井康年（うめだ・あけぼの学園）、〈新任〉竹中佐江子（株式会社リニエR）

※順番は五十音順

●退会となる年会費の未納年数について

このたび日本作業療法士協会との「協会員＝士会員」を推進するにあたり、運用を日本作業療法士協会に沿ったものに変更していくこととなりました。

つきましては、東京都作業療法士会においても2025年度からは当該年度の未納がある場合に翌年の総会終了後退会処理を行う運用に変更させていただくこととなりました。

会員の皆さまにおかれましてはご理解ご協力のほど宜しくお願い致します。

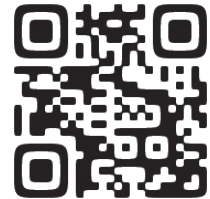
東京都作業療法士会福祉用具部主催 《福祉用具部研修会のご案内》

今年度最初の研修会は、若手のセラピストに向けた研修会を企画しました。概要としては、病院や施設で行われている家屋評価にスポットを当て、どのような点に配慮し、どのような対応策（住宅改修や福祉用具レンタル）を行えばよいのか講義とグループワークを通して理解を深めていただくものとして開催いたします。

若手向け研修会：「福祉用具・住宅改修の基本と実際」

～ 家屋評価を行う上で知っておきたいポイントについて～

- ☆対象 象：日本作業療法士会会員かつ、東京都作業療法士会の会員、または他県士会の会員
- ☆参加 費：1,000円（東京都作業療法士会会員、他県士会員）それ以外 2,000円
- ☆開催 日時：2024年10月6日（日） 10：00～16：00予定（受付9：45～）
- ☆OT協会基礎ポイント：2ポイント付与
- ☆場 所：東京都立大学 荒川キャンパス 校舎棟182・183教室
- ☆定 員：30名（先着順）動きやすい服装で起こしてください
- ☆内 容：船谷俊彰氏（元パナソニックエイジフリー株式会社：福祉用具のスペシャリスト）による講義と実践、症例検討によるグループワークにて得た知識のアウトプットの機会とします。
- ☆申し込み：イベントページ 下記URLまたはQRコードから
- ☆申込締切：2024年9月30日（月）
- ☆問い合わせ先：tokyo.ot.yougu@gmail.com



事業部活動報告

事業部 村上 元太・坂本 恵子

5/18に看護フェスタが開催され今年もブース出展してきました。はじめて参加してくれた2名の部員に感想をまとめてもらいました。

今回、看護フェスタに参加し、初めて相談員として参加させていただく機会をいただきました。普段の病院業務ではなかなか聞くことのできないご家族の思いや相談事などを聞くことが出来ましたが、意外にもご家族の相談事だけではなく、ご本人様からの相談事も多かった印象でした。今回、ご家族、ご本人の思いを病院以外で聞くことのできる貴重な機会をいただいたため今後の病院業務や退院支援の面で生かしていきたいと思えます。（村上）

OTのブースでは、『生活行為、認知症に対してのリハビリ』として、ブースに立たせていただきました。ブースに立ち寄りの方の多くは、“最近物忘れが多い”“忘れっぽくなり認知症なのではないか”“認知症が始まったのではないかと心配する声や家族が認知症と診断され対応に困るためどうしたら良いか、と言う相談事を多く聞きました。地域に相談する相手がいる場所がある事、自身の経験をもとに生活の工夫を伝えることができ、不安が少し減り安心した表情で帰られる方が多くみられました。また学生さんの参加もあり、『作業療法』とはどんなことをやっているのかを知ってもらう機会にもなりました。この様な場がより増えると良いなと感じた1日でした。（坂本）



子ども委員会活動報告

子ども委員会 委員長 山崎 仁智

7月に東京都作業療法学会が開催されました。子ども委員会も公募企画の中で「今、子どもたちに何が起きているのか。発達OTが臨床で感じていること」のタイトルで参加しました。詳しい内容は次回のニュースで報告したいと思います。また、公募企画の中で発達領域の企画が他にも2つあり参加者へも発達領域への興味を持っていただけたら幸いです。

コロナが第5類感染症になりましたので昨年度は対面での研修会を開催しました。オンラインでは都内外から気軽に参加できることが良い面だと思いますが、対面での研修の開催は会場設営など大変ではあるものの、久しぶりに会う方々と話すことができたことや講師の方との交流、講師の熱量ある話は会場でないといわえないものだと思います。

今年度の活動としては、例年通り特別支援学校外部専門家育成のための座学研修と見学研修の企画を進めています。

また、他にも昨年度から企画をしている、小児発達の施設向けのアンケート調査を実施予定です。発達分野で活躍されているOTの皆様をお願いする形になりますが、ぜひご回答いただけたら幸いです。また、外部からの企業や個人からの相談も増えています。その都度対応していますので、何かありましたら相談してください。

新たな試みとして、発達領域で務めている方や興味のある方向けに懇親会を企画しています。一人職場も多く、作業療法士の中でも少ない領域の顔を合わせる機会や情報交換ができる機会ができればと思います。

子ども委員会の研修はホームページやFacebook、LINE、Twitterなどでお知らせするのでご確認していただけたら幸いです。

地域づくり人材育成研修 —実践編—を開催しました！

東京都作業療法士会 地域づくり共創部 山中 信

地域づくり共創部は2023年2月より地域づくり人材育成研修を展開してまいりました。この約1年で「基礎編」「実践基礎編」の実施を経て、2024年4月20日（土）に「実践編」を実施し「地域づくり推進リーダー」が30名誕生しました。

今回の実践編では、フレイル概論や地域づくり、地域関連サービスに関する各論の講義に加え、「地域の互助を再考し強化するために明日からどう動くか」というテーマのもと、グループワークを行いました。研修の感想を一部ご紹介します。「地域資源の情報を取りに行く重要性を感じた」「支援者を繋げる、活動の場を作る、住民が歯車となるきっかけを作るなど互助を促進する視点も色々あると感じた」

本研修は、地域や病院でご活躍されている臨床家だけでなく行政に勤務されている方もご参加いただき、様々な側面からの意見交換を通して、地域支援の在り方のイメージや思考の醸成ができたのではないのでしょうか。

地域づくり人材育成研修は、基礎編、実践基礎編、実践編の三部で構成されており、基礎編より順番にご受講いただいております。今後、基礎編より研修を再開する予定がございますので、改訂版の研修要項が決定次第お知らせいたします。地域づくりに関わっている方、関わる予定のある方だけでなく、興味のある方にも是非ご参加いただければと思います。

東京都作業療法学会に参加して

認知症の人と家族の生活支援委員会 委員長
日本リハビリテーション専門学校 山下 高介

当委員会では、第20回東京都作業療法学会に公募企画として参加しました。企画の内容としましては、「認知症カフェの体験」です。みなさまも、よく耳にするワードかと思いますが、実際にOTとして参画している方や参加者として体験した方は少ないのではないのでしょうか？地域活動に興味を持っているOTに、より地域での活動のイメージを持っていただくために企画しました。

当委員会は、このような企画を通して地域活動に参加するOTを少しずつ増やしていくことを目標の1つとしています。また、そのような企画側の活動に興味を持つOTも募集中です！委員会活動にご興味のある方は、東京都作業療法士会ホームページなどからお問い合わせください。

認知症にやさしい本の紹介 VOL.45

川崎市立宮前図書館 館長 舟田 彰

『大人になる前に知る 老いと死』

著/前沢 政次

中高生向けに認知症や介護、フレイル、子どもとの接点、独居老人、社会保険制度、ヤングケアラー、老いとともに変わる体の変調、死の全般などについて理解するための一冊であり、これらのテーマを一つずつわかりやすく書き記している。特徴的な点として、各章の説明の前に中高生と高齢者との体験を通じて感じたことが事例として挙げられており、その物語に沿って著者が解説している。第1章「認知症って知っている？」では、「通学路の出会い」という事例が取り上げられている。物語の中で、主人公の高校生が認知症の高齢者とバスに同乗する。高齢者はどの停留所で降りたらいいのかわからなくなり、声をかけて保護するというエピソード。この出来事を通じて、認知症とは何かという説明に入っていく。また、認知症の人の気持ちについての小見出しでは、認知機能や喜怒哀楽が薄れても中心にある「生きる姿勢」について説明している。中高生がこのような気持ちを理解し認知症の人と接すれば、社会における認知症への理解がさらに多世代へ広がることであろう。後半では死について考えさせられた。本人や家族・周囲の人たちが死をどう受け止めるかについても触れられている。様々な捉え方があるが、死に至っても、周囲の人の心の中で故人とのやり取りという物語がその人の中に残り、生き続けるという言葉が印象に残った。92歳になる自分の母親のことをすり合わせ、読んでしまった。

保険部 Letter 令和6年度診療報酬改定の概要

保険部担当理事 松岡 耕史

令和6年6月1日から診療報酬が改定されました。紙面の関係上、OTが関わる一部の情報ですので詳細は以下のURLをご確認ください。「厚生労働省中央社会保険医療協議会」：https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00045.html

1. 回復期リハビリテーション（リハ）病棟入院料の引き上げ

- 回復期リハ病棟入院料1及び3について、FIMの測定に関する研修会を年1回以上開催することを要件とする。
- 回復期リハ病棟入院料及び回復期リハ入院医療管理料の算定に当たり、2週間に1回以上FIMを測定することを要件とする。
- 運動器疾患に対してリハを行っている患者について、疾患別リハ料に係る算定単位数上限緩和対象患者から除外。

2. 急性期リハ加算

- 病態に応じた早期からの疾患別リハについて急性期リハ加算として新たな評価を行うとともに、早期リハ加算の評価を見直す。

3. 急性期におけるリハ・栄養・口腔連携体制加算

- 多職種で取組を行った場合、患者1人につきリハ・栄養管理・口腔管理に係る計画の作成日から14日を限度に算定できる。
- 入棟後48時間以内にADL、栄養状態、口腔状態の評価に基づき、計画を作成し定期的な再評価を実施すること。
- 専従の理学療法士等は1日につき9単位を超えた疾患別リハ料等の算定はできない。
- 当該病棟に、専従の常勤PT、OT又はSTが2名以上配置されている。なお、うち1名は専任の従事者でも差し支えない。
- 以下の基準を全て満たすこと。ア：入棟後3日までに疾患別リハ料が算定された患者割合が8割以上。イ：土日祝日における1日あたりの疾患別リハ料の提供単位数が平日の提供単位数の8割以上。ウ：退院又は転棟した患者のうち、ADLが入院時と比較して低下した患者の割合が3%未満。エ：院内で発生した褥瘡を保有している入院患者の割合が2.5%未満。

4. 地域包括医療病棟

- 救急患者等を受け入れる態勢を整え、リハ、栄養管理、入退院支援、在宅復帰等の機能を包括的に担う病棟の評価を新設。

5. 地域包括ケア病棟入院料

- 地域包括ケア病棟入院料の評価について、40日目以降と以前の入院期間に応じた評価体系に見直す。

6. 療養病棟

- 医療・ADL区分ともに1の入院料27（従前の入院料I）について、1日2単位を超える疾患別リハ料を包括範囲に含める。

改造車の運転という作業体験を通して 知見を深める

自動車運転と移動支援対策委員会 大場 秀樹・永島 匡

委員の2名が、静岡県にある農協共済中伊豆リハビリテーションセンター（以下、中伊豆リハ）へ見学する機会を得た。この中伊豆リハは、医療事業では回復期リハビリテーション病棟（110床）を有し、福祉事業では障害者支援施設、就労継続支援B型作業所、障害者生活支援センター、介護事業では通所介護、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業、訪問介護を運営している。そして、障害を持たれた方への自動車運転の再開支援への取り組みについては、全国屈指の施設で研究も積極的に行っている。大きな特徴は、複数のドライビングシミュレータに加えて、敷地内に実車で自動車運転評価が行える自動車運転コースを整備し、左足アクセルや手動運転装置などの運転補助装置の付いた車両を2台保有している。つまり実車による支援が全対象者に実施可能である。

今回、改造車の運転を敷地内のコースで体験する機会をいただいた。そして、左手足のみ運転や上肢だけの運転を体験して、多くの知見を深めることができた。全国的に自動車運転再開の支援を行っているOTは増えているが、ドライビングシミュレータで模擬的な操作体験が中心で、実際に改造車を運転する機会はほぼない。例えば、右方向への曲線路を走行しながら、途中で左折する場面があった。その時の操作で、左手のみでハンドルを右回旋して走行している途中に、左手で方向指示器を操作することができなかった。もちろん左足でのペダル操作にも手を焼いた。運転操作の工夫について体験による知識を得ることができたが、このような機会が運転支援を行っている都士会員に提供できないだろうか。また新しい仕掛けづくりができるか検討中である。

障害者の雇用率について

就労支援委員会 峯尾 舞

令和6年4月に障害者雇用に関する法律改正がありました。そこで今回はあらためて障害者の「雇用率」についてご説明します。

現在、従業員を40人以上雇用している企業は、一定割合以上の障害者を雇用しなければいけません（例えば従業員数40人の民間企業の障害者雇用率は2.5%であり、障害者を1人以上雇用する義務があります）。このように障害者の就労機会を確保する目的で定められている割合を雇用率と言います。

雇用率のことを定めた「障害者雇用率制度」の中では、「障害者1人」を雇用する際、その人の勤務可能時間や障害の重さにより何人分として数えられるのかについても決められています。例えば身体障害者の場合、週所定労働時間が30時間以上の方は「1人あたり1人分」として、また、精神障害者の場合、週所定労働時間が10時間以上20時間未満の方は「1人あたり0.5人分」として数えられます。法律や制度に関する内容は就労支援をする上で重要な内容ですので、今後も取り上げたいと考えています。

- ・7月14日（日）第20回東京都作業療法学会 公募企画「就労支援におけるOTの役割 ～就労継続支援B型におけるOTの実践を通して～」：就労継続支援B型事業所で働くOTの活躍の様子を紹介予定
- ・8月7日（水）19:00～事例検討会：就労移行・生活訓練事業所に通い一般就労を目指している発達障害をお持ちの方について検討予定

* 就労支援委員会 shuuroushien.tokyo.ot@gmail.com

令和6年能登半島地震における リハ支援活動の概要と振り返り

災害対策担当 松岡 耕史

都士会ニュース3月号、5月号において、東京都OT士会（都士会）による能登半島地震の支援活動の報告をしてきました。都士会は東京都PT協会やST士会と共に、東京都JRAT（日本災害リハビリテーション支援協会の東京支部）と連携しながら支援活動を行ってきましたが、4月をもってリハ支援が終了しました。今回の能登半島地震のリハ支援について実施した活動の概要と振り返りを記載致します。

【JRATと連携した都士会の支援活動】

能登半島地震の支援において、都士会は東京都JRATの構成団体として連携して活動を行った。

令和6年1月1日に発災（最大深度7、マグニチュード7.6）後、1月3日にJRATの現地対策本部が開設され、1月5日からJRATの先遣隊（RRT）が現地の災害対策本部や県庁本部、避難所への支援に入った。その後、JRATの以下の活動に対して東京都からもOTが派遣され支援した。

活動場所	役割	支援に入った都士会員数
石川県の現地災害対策本部ロジスティック	現地の本部で関連団体や支援チームに関する調整	3名
JRAT東京本部ロジスティック	東京本部で、いつ・誰を派遣するか調整	4名
1.5次避難所（2次避難所へ行くまでの間過ごすための避難所） 一時待機所（介護を要する方が福祉避難所や福祉施設へ行くまでの間過ごすための避難所）	1.5次避難所：65歳以上の高齢者（要介護1まで）、障害のある方、未就学者、妊婦等の要配慮者とその同伴者への支援 一時待機所：要介護2、3以上の方への支援	4名

【能登半島地震と熊本地震との比較】

能登半島地震はリハ支援がJRATに一本化されており、以下に示す通り、平成28年の熊本地震と比較すると、JRATの介入開始時期が早くリハ支援の派遣者数も多い。両震災の死者数は同程度であるものの、災害関連死は能登半島地震の方が少なく、早期から災害リハ支援が入ることで災害関連死の発生を抑えられる可能性がある。

	能登半島地震	熊本地震
避難所避難者最大数	4万人	18万人
発災後のJRAT介入開始時期	発災7日後	発災1ヶ月後
JRATによる派遣者数（延べ人数）	5,784人	2,885人
死者	245人	273人
災害関連死	15人	221人

【能登半島地震の特徴と東京都が被災した際の課題】

<能登半島地震の特徴>

- ・交通網が寸断され支援が遅れた（特に奥能登や珠洲など）。
- ・高い高齢化率によりADL低下と避難先確保が困難で1.5次避難所での足止めが多かった。

<東京の特徴と東京が被災した際の課題>

- ・人口が多く、住民だけでなく通勤通学者、旅行者などがいるため、様々な避難ケース（在宅、避難所、親戚・知人・ホテル）が想定される。
- ・高齢化率が増加している地域があり、地域によってADL低下の対策と避難先の確保が必要。
- ・都内で交通規制が実施されるため車両による遠方からの早期参集が期待できない。

⇒初動のために自地域での支援や地域特性に合わせた早期の予防的介入、地元施設の機能復興と受け入れなどが必要になる。都士会ではブロックを中心に各区市町村との連携や災害リハ支援を行える人材の育成を進める。

ブロック活動のお知らせ

西部西南部ブロック

野村 哲朗

皆様こんにちは！当ブロックでは各区ごとの活動も行っており5月24日に杉並リハビリテーション病院にて杉並OT連絡会の「第2回ヨコにつながる会」を開催しました。今回は24名のOTが集まってくださいました！テーマは防災対策で、杉並区防災課の方々に区での取り組みや状況をレクチャーして頂きました。有事の際にはまず自助での判断に委ねられる部分が多い為、地域で従事するOTの役割も大きい事を学びました。また、杉並リハビリテーション病院のBCP作成の流れを発表して頂きました。災害発生時のアクションプランが具体的に示されており、迷わず遅れず対応できる体制を整えておられました。その後はグループに分かれ座談会を行いました。閉会後も談笑は続き、和やかな会になりました。連絡会では今後も継続していきます。新人の方も大歓迎です！同じエリアで地域課題も共有し杉並OTを盛り上げたいと考えております。西部西南部ブロックでは仲間を募集しています。興味のある方は、下記アドレスまでお気軽にお問い合わせください。

seibuseinanbu.ot@gmail.com



区西北部ブロック

清水 隆志

この都士会ニュースが配送される頃には、梅雨が明け都学会が開催された頃だと思えます。この時期には、運営委員で都学会の反省点についての検討や次回運営ブロックへの引継ぎを行っているかと思えます。来年度の都学会も有意義な学会になるように協力できたらと思えます。

さてブロック活動では下半期に向けて活動を再開していく予定です。今年の夏の暑さに負けないよう頑張っていきたいと思えます。皆様も暑さに負けないよう体調管理に気を付けて下さい。

最後にブロック活動に御興味がある方を募集しています。活動を通じて他施設・領域のOTと交流もあり、良い経験になるかと思えます。御興味のある方は区西北部ブロックまでお問い合わせください。

連絡先：tokyo.ot.seihoku.block@gmail.com

区東部・東北部ブロック

篠原 海

東部・東北部ブロック災害対策係の篠原です。普段は訪問リハビリで働いていますが、この季節の自転車移動では、急な雨や突風にとっても苦労しています。さて、早めのお知らせではありますが、例年9月末に災害シミュレーション訓練が行われます。災害が起こった場合を想定し、FAXやメール、LINEなどを活用しつつ安否確認を行います。回答率は全体でも6割程度となっております。災害時の円滑な支援を行うための訓練ですので、皆様のご協力をお願い致します。最後に、当ブロックでは新人OTだけでなくベテランOTを対象にした研修会を構想中です。皆様の参加をお待ちしております。また、ブロック活動にご興味のある方は気兼ねなくご連絡ください。

区東部・東北部ブロック：tokyo.ot2018@gmail.com

区中央部・南部・島しょブロック

山本 司

現在、区中央・南部・島しょブロックでは今年度も「皆様の有益になるよう」開催するイベント・研修会について、内容の検討を行っております。今まで行っていたような研修会以外にも、病院見学ツアーや学校見学ツアー、交流会などの案が出ており、面白いイベントが企画されています。

また、大田区ではPT・OT・STの三士会合同の納涼会が企画されております。大田区以外の方も参加可能ですので、ご興味のある方QRコードから詳細をご確認ください。締め切りが過ぎても下記のアドレスにご連絡いただければ、参加できるかも！？

区中央・南部・島しょブロックでは一緒に活動していただける方を随時募集しております。他施設のOTと連携を取り、顔の見える関係を築きたい方など、ぜひ一緒に活動に参加してみませんか？また、ご意見、ご要望のある方も是非ご連絡ください。お待ちしております。



連絡先 → ku.chuou.nanbu.ot@gmail.com

北多摩ブロック

浅野 智貴

北多摩ブロックの今年度の活動として、勉強会係ではOT同士のつながりを広げていくために定番となった交流の場「ツドイノバ」と年度内に2回の研修会の開催を予定しています。2024年度 第1回のツドイノバは7月26日（金）に、毎年恒例の「集まれ新人OT」と題して開催いたします。

広報係では、秋に「地域の福祉祭り」に参加予定です。また、昨年度より準備をしていたInstagramを遂に開設いたしました。北多摩ブロックとしての活動内容はもちろんのこと、北多摩ブロック内の施設情報やブロック委員のおすすめグルメなど、多岐にわたる情報を発信していこうと思います。ぜひチェックしフォローしてくださいね（kitatama_ot）。

老若男女問わず、北多摩ブロックのOT同士のつながりの強化や情報共有などの基盤づくり、Instagramの更新など、あらゆる場面で多くの人の力やご協力が必要となります。ぜひ、あなたの普段使っている能力を北多摩ブロックで発揮してみませんか？

*ブロック活動に興味のある方は、気兼ねなくご連絡ください。ot.kitatama@gmail.com
InstagramのDMでも構いません！

西多摩・南多摩ブロック

今泉 幸子

当ブロックでは7月19日に久々の集合開催で今年度第一回目の研修会を開催いたしました。内容は自助具を作製しながら懇親を図ろうというものです。実はこの原稿執筆時は開催前ですが、ニュースが出る頃には「今回、大成功だったね！」となっているはずです。コロナ禍でオンラインが続いていましたので皆で集まることの楽しさを実感しながら。10月には自動車運転支援の研修会開催を予定しています。初めて支援を行うセラピストに対して入口となるような研修会を企画中です。ご期待ください！

ブロックメンバー大募集！ご興味ある方はご連絡下さい ⇒ swtamaot@gmail.com

各市区町村の所属ブロックに関しては都士会ホームページでご確認ください。

編集後記



また暑い夏が始まりましたね！明るい時間が長いので活動時間が長く好きな季節ではありますが、夏バテには気を付けないといけませんね。さて、総会、都学会といった都士会での大きなイベントが終わりました。私が都士会の活動に参加するようになったのは職場以外でのOTのつながりを増やしたいと思っていたところ、当時の都学会に参加して、打ち上げの時に「何かやりたいです」と相談させて頂いたことがきっかけでした。各部・委員会で新たなメンバー獲得に対して取り組まれていると思います。広報部でも新たな部員を募集しています。特に年1回作成している広報誌ではオリジナルティあふれる活動が可能ですので、興味ある方はぜひ！

広報部部长 水口寛子

※ニュースに掲載されている写真は、ご本人の同意を得たうえで掲載しています。

◆東京都作業療法士会 事務局

〒160-0022 東京都新宿区新宿5-4-1 新宿Qフラットビル501号室

TEL：03-6380-4681 FAX：03-6380-4684

◆東京都作業療法士会ホームページ <http://tokyo-ot.com/>

◆東京都作業療法士会ホームページ窓口 postmaster@tokyo-ot.com

※お詫びとお願い：現在事務局での電話対応が困難な状況にあります。

ご質問・ご連絡は、FAX・メールにてお願いいたします。